

# 第4回理事會速報

平成30年11月14日  
場所 協会事務所

理事會は、年8回開催されており、協会の運営活動について協議しています。その中の特に注目のトピックスを紹介いたします。

# 2020年全国大会 愛知県開催へ

第68回(2020年)日本医療社会福祉協会全国大会の開催地に愛知県が立候補し、日本医療社会福祉協会理事會をもつて、正式に承認された。これから理事が中心となり、実行委員会を立ち上げよう。

愛知県での開催は46年ぶりで、また当協会70周年にあたるため、関係者を招いての記念式典を行うなど、記念イベントとする予定である。また第15回愛知県医療ソーシャルワーク学会も同時開催する。

詳細はこれから決められるが、2020年6月5日(金)〜7日(日)にウイנקあいちでの開催にて調整していく。

## 「せつこさんを救う会」を支援しましょう!

本会会員である安城更生病院の中村節子さんが海外で臓器移植を受けることとなり、支援者が募金活動を行っている。

中村さんから10月に移植手術費の募金をお願いする趣旨の記者会見が行われ、本会としてもその呼びかけに協力することとした。

仲間が迎えている大きな局面に、ぜひとも支援をお願いしたい。詳細はせつこさんを救う会ホームページをご覧ください。



難病の中村節子さんに肝臓移植を  
募金目標金額 6,000万円  
みなさまのご協力を  
よろしくお願い申し上げます

愛知県知立市在住の中村節子さん(53歳)は、地元の医療機関にソーシャルワーカーとして、地元医療、患者さんの生活支援のため働き続けてきたが、平成10年(1998年)に難病である原発性胆汁性胆管炎と判明しました。以来通院、入院を繰り返しながらも、徐々に症状が悪化しなくなり、徐々に臓器移植以外助かる道はないと診断されました。遠やかに移植すべき状況と主治医から伝えられ、国内での生体肝移植も考えましたが、身内に適合するドナーがみられず、また国内でのドナー提供も待てない時期の長年なことから、海外肝移植手術・海外治療など必要な費用を本人・家族で準備して海外に渡航し、平成15年(2003年)11月に肝臓移植手術を行いました。その後、順調に回復し仕事にも復帰し平穏な生活を送っていましたが、今更再び、肝臓と同じ臓器により徐々に体調が悪化しなくなり、遂やかに肝臓移植する以外助かる道がないと診断されました。主治医からは一応早く手術が必要となつたことと、この金額は、本人や家族だけでは負担がでない金額であり、また一応早く手術をしなければならぬことから、私たちはご家族と相談し、2018年9月22日に「せつこさんを救う会」を設立し、募金活動を行うこととしました。

せつこさんを救う会 <http://setsukosave.com/>

金融機関名	口座番号	口座名
あいち中央農業協同組合 本店	普通 0206585	せつこさんを救う会
経通信用金庫 本店営業部	普通 6115894	せつこさんを救う会
三菱UFJ銀行 安城支店	普通 0456232	せつこさんを救う会

「せつこさんを救う会」代表 太田綱子 事務局 愛知県安城市吉井町小仏15-15 電話 090-1157-0922  
同僚はボランティアで活動し、事務局に専断スタッフがみられます。活動内容の順にご案内し、ご質問などご心配なご声かけください。  
ホームページに「よくあるご質問(Q&A)」を掲載しております。ご参照いただけます。

## 笑い太鼓・加藤様ら来所

9月の愛難連に引き続き、11月14日の理事會前に当事者支援団体であるNPO法人 高次脳機能障害支援「笑い太鼓」の加藤様らが協会事務所に来所され、笑い太鼓の活動紹介を中心とした説明がされた。MSWとして高次脳機能障害患者への支援について参考となる内容であった



### 情報部より

この度は会報誌アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。たくさんの方の貴重なご意見をいただきました。アンケート結果は、会報誌に掲載いたします。

また研究誌「医療ソーシャルワーク」67号の発刊が遅れており、ご迷惑おかけしています。1月の臨時便にて発送いたしますので、今しばらくお待ちください。

第4回理事會の議事録は、会報誌16号(2月末発行予定)に掲載されます。詳細はこちらをご覧ください。情報部